

職業実践専門課程の基本情報について(2014)

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
東京YMCA 医療福祉専門学校	平成8年2月23日	八尾 勝	〒186-0003 東京都国立市富士見台2-35-11 (電話) 042-577-5521			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 東京YMCA学院	昭和56年5月8日	理事長 徳久俊彦	〒135-0014 東京都江東区石島3番15号 (電話) 03-3645-7171			
目 的	心身に障害をもった人の「思い」により添い、カレッジスピリットの「互いに愛し合いなさい」の精神に基づき、信頼される作業療法士の育成を目指す。 臨床実習や授業内実習では、常に現場と密接に関わり、現場の即戦力となるリハビリテーションの専門家を養成する。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	医療専門課程	作業療法学科	昼3年制	133 単位時間 (又は単位)	あり	なし
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	90 単位	21 単位	0 単位	22 単位	0 単位	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	66人	6人	20人	26人		
学期制度	■1学期：4月1日～9月30日 ■2学期：10月1日～3月31日 ■3学期：			成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 科目の認定基準は、 3分の2以上の出席と定期試験 で6割以上の点数をとること。 評価はA～D。	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月20日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月5日 ■学 年 末：3月22日～4月9日			卒業・進級条件	該当学年の必修科目および 実習が修了していること。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無 ■長期欠席者への指導等の対応 個別の指導、カウンセリング等、 状況に応じて対応。			課外活動	■課外活動の種類 石巻ボランティア 国際協力街頭募金 ■サークル活動 (有) 無	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 病院（身障、精神、発達、老年期）</p> <p>■就職率※¹ 100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合※² 100% (19人/19人)</p> <p>■その他（任意） (平成25年度卒業者に関する平成26年4月時点の情報)</p>	主な資格・検定	作業療法士国家試験受験資格
中途退学の現状	<p>■中途退学者 9名 ■中退率 13.8%</p> <p>平成25年4月1日在学者 65名（平成 25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 56名（平成 26年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 学業不振、体調不良</p> <p>■中退防止のための取組 自習教室を定期的に関き、苦手な科目に取り組ませ、学力の底上げを目指している。 また、欠席が続いた時には家庭との連絡を密にとり、家庭との連携も大切にしている。</p>		
ホームページ	URL: http://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

授業でカバーすべき範囲を定めるのはある程度指定科目の条件の中にあるものの、業界の求める最新の知識技術やこれから必要となってくるトピックの採用には、最先端の現場で活躍している者の意見に耳を傾け、実際の授業やカリキュラムに反映していくことが必要と考える。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 10 月 20 日現在

名 前	所 属
八尾 勝	校長
倉持有希子	介護福祉科学科長
上松 剛	作業療法科学科長
望月太敦	卒業生（介護福祉科）、シャローム本天沼施設長
小檜山修平	卒業生（作業療法学科）、東京リハビリ訪問看護ステーション
白井幸久	東京都介護福祉士会会長、群馬医療福祉大学教授
三沢幸史	東京都作業療法士会副会長、多摩丘陵病院リハ科科長

(開催日時)

第1回 平成 26 年 7 月 18 日 19:00~20:30

第2回 平成 26 年 10 月 3 日 19:00~20:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

学校で学んだ知識と技術を実習先で実践することにより、真の臨床家を目標に信頼される作業療法士を目指す。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
作業療法演習	作業療法の臨床現場に出向き、作業療法士の指導のもと検査、観察、面接の一部を体験する。リハビリテーションの各領域と現状を学習する。	病院、老人保健施設 等
臨床評価実習	対象者の協力を得ながら検査・測定の手技を学び、面接及び日常の行動観察を行い、情報分析ができるようにする。作業療法評価を実施する。	病院、老人保健施設、デイケアセンター 等
臨床総合実習	作業療法評価を実施し、その結果から治療計画を立案し、実施する。治療経過をまとめて考察し、ケーススタディーの発表を行う。	病院、老人保健施設、精神保健福祉センター 等

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員に現在就いている職又は将来就くことが予想される職の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その他その遂行に必要な能力、資質等を向上させるために実施することを基本とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 26 年 10 月 20 日現在

名 前	所 属
小泉 昌広	医療法人社団陽和会コートローレル介護長、卒業生（介護福祉科）
永井 純	北原国際病院病院事務長、作業療法士、卒業生（作業療法学科）
山野 晴雄	高等学校関係者（多摩高進顧問）
吉野 たけし	学識経験者（二葉ファッションアカデミー校長）

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/>

授業科目等の概要

(医療専門課程 作業療法学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			教育学	教育社会学理論、教育思想を踏まえて「教育問題」を論じます。	1 前	20	1	○		
○			心理学	心理学の様々な分野から、人間の理解に役立つと思われるテーマをとりあげ学ぶ。	1 前	30	2	○		
○			社会学	「社会」について、様々な視点から問題意識を持ち、再考する。	1 前	20	1	○		
○			統計学	データを分析し、分析するための基礎的な考え方や方法を身につける。	1 後	30	2	○		
○			情報科学	収集されたデータから、予測する推測統計の考え方や方法を身につける。	2 前	30	2	○		
○			人間関係学	「自己との関係」「他者との関係」を探りながら、自己分析ができ意識化し自覚することができる。	1 前	30	2	○		
○			死生学	自分自身の死生観を問い直し、生きることの意味を改めて考えていく。	1 前	30	2	○		
○			人間工学	人間工学の概要について学び、リハビリテーションの現場を介して工学的な論理展開を学ぶ。	2 前	30	2	○		
○			医学英語	英文の構造を学び、簡単な英文を理解できるようにする。	1 前	30	2	○		
○			学習支援演習 I	学習支援活動、クラス活動、上級生との交流の場。	1 通	30	2	○		

○			学習支援演習Ⅱ	学習支援活動、クラス活動、予習・復習・自主学習を行う。	2通	30	2	○		
○			学習支援演習Ⅲ	学習支援活動、クラス活動、実習・就職・国家試験対策などにそなえ、最終学年を有効に過ごすようにする。	3通	30	2	○		
○			解剖学	人体の構造を形態学的観点からとらえ、器官系統別に理解する。	1通	80	5	○		
○			解剖学実習	人体の形態学的構造を立体的に理解する。	1通	120	4		○	
○			生理学	医療従事者として必要な生理学の基礎を習得する。	1通	90	6	○		
○			生理学実習	ヒトを対象とした生理学的・行動学的指標の測定とその評価と実習の成果発表を行う。	1通	60	2		○	
○			運動学	全身の運動器に関する構造と機能について基本的知識を習得する。	1後	40	2	○		
○			運動学実習	基本的身体運動分析を体験学習し、結果をまとめて考察する。	2前	60	2		○	
○			人間発達学	生物的、社会的、心理的存在としての人間を発達という観点から全体として理解する。	1後	30	2	○		
○			基礎運動学	運動学、運動学実習を学ぶ基礎として、筋一骨格系の基礎知識を獲得する。	1前	30	2	○		
○			病理学概論	生体に起こる病的状態について、主として形態学的な観点から学ぶ。	1後	30	2	○		
○			一般臨床医学	救命救急医療、外科総論、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、老人医療を学ぶ。	1前	30	2	○		
○			内科学Ⅰ	内科総論を臨床各分野の基礎と位置付けて取り上げる。	1後	30	2	○		

○			内科学Ⅱ	臨床医学の基礎として、症状・検査・治療について学ぶ。	2 前	30	2	○		
○			整形外科学Ⅰ	作業療法士が必要な整形外科学を理解し習得する。	1 後	30	2	○		
○			整形外科学Ⅱ	種々の疾患について、それらの病態、治療法など臨床医学の概略を学ぶ。	2 前	30	2	○		
○			神経内科学Ⅰ	神経解剖学・生理学の知識と理解に基づいた神経内科学の学習	1 後	30	2	○		
○			神経内科学Ⅱ	神経解剖学・生理学の知識と理解に基づいた神経内科学の学習	2 前	30	2	○		
○			精神医学Ⅰ	さまざまな精神障害について、その症状や治療法を理解する。	1 後	30	2	○		
○			精神医学Ⅱ	さまざまな精神障害について、その症状や治療法を理解する。	2 前	30	2	○		
○			小児科学	小児の成長・発達とその障害、小児特有の疾患について学ぶ。	2 前	30	2	○		
○			臨床心理学	臨床心理学の基本的考え方を理解した上で、現場においての活かし方を考える。	1 前	30	2	○		
○			リハビリテーション概論	リハビリテーションの理念、歴史を知る。基礎的知識を得る。	1 前	20	1	○		
○			保健医療福祉概論	わが国の保健・医療・福祉の現状を概観し、今後の展望と課題についても理解を深める。	2 前	20	1	○		
○			作業療法概論	作業療法に必要な一般的知識を習得する。	1 前	20	1	○		
○			作業療法管理学	作業療法士として必要な管理・運営に関する知識を習得し行動できる。	3 前	16	1	○		

○			基礎作業学	作業療法において作業活動を治療・援助に活用するための基礎を学び、作業分析を試みる。	1 前	20	1	○		
○			基礎作業学 実習Ⅰ	作業療法的手段として用いられる織物、陶芸、木工の手順、工程、技法を学ぶ。	1 通	80	2		○	
○			基礎作業学 実習Ⅱ	作業療法的手段として用いられる代表的な種目に対して、グループ担当授業を行う。	1 後	60	2		○	
○			身体障害作業療法評価学	評価の目的、方法と技術、結果の解釈を学び、実際に行うことができるようになる。	2 前	30	2	○		
○			精神障害作業療法評価学	精神障害領域における作業療法評価の基礎を学ぶ。	2 前	30	2	○		
○			発達障害作業療法評価学	対象児・者および家族の支援計画立案のため、情報を収集し、治療仮説を立てることができる。	2 前	20	1	○		
○			身体障害作業療法評価学実習	関節可動域測定、徒手筋力測定をできるようにする。	1 後	60	2		○	
○			身体障害作業治療学Ⅰ	評価結果から利点・問題点の抽出・整理、解釈を行い、治療プログラムを立案することができる。	2 前	16	1	○		
○			身体障害作業治療学Ⅱ	各種疾患に起因する機能障害を理解し、その機能回復や生活機能障害の軽減の為の作業療法の考え方や手段を説明できる。	2 通	40	2	○		
○			精神障害作業治療学Ⅰ	精神障害の概念の変遷と作業療法の理念を学び、精神科作業療法の基本的役割を理解する。	2 前	16	1	○		
○			精神障害作業治療学Ⅱ	精神障害の代表的な疾患について概要・疾患別に適切な作業療法・禁忌事項について学ぶ。	2 後	40	2	○		
○			発達障害作業治療学Ⅰ	発達のつまづきに対してのアプローチの基礎を学ぶ。	2 前	20	1	○		
○			発達障害作業治療学Ⅱ	障害の特徴を知り評価から治療計画を立てる。	2 後	40	2	○		

○		老年期障害 作業治療学	高齢期の特徴と障害を学び、評価法・援助法を学習し、 作業療法の実際を習得する。	2 後	20	1	○		
○		高次神経障 害作業治療 学	高次神経障害の基礎的な知識を身につけ、作業療法士として臨床現場での 応用について準備する。	2 後	20	1	○		
○		身体障害作 業治療学実 習	模擬患者により作業療法のプロセスを実施す る。	2 後	60	2			
○		精神障害作 業治療学実 習	評価法やプログラム運営を学生が主体的・实际的に試 み、その中で適切な態度、役割等を学ぶ。	2 後	60	2			
○		日常生活活 動援助学	作業療法士として日常生活活動に関する評価・介入・指導ができるための 知識・技能・態度を身につける。	2 前	30	2	○		
○		職業関連活 動援助学	障害をもつ人の就労の現状と作業療法の関わり を知り、援助のための知識・技術を学ぶ。	3 前	16	1	○		
○		日常生活活 動援助学実 習	作業療法士として日常生活活動に関する評価・介入・ 指導ができるための知識と技術を身につける。	2 後	40	1			
○		義肢装具学	義足・下肢装具、義手・上肢装具の知識の修得。装着 訓練の知識、スプリント作製技術を学ぶ。	2 後	30	2	○		
○		作業療法研 究法Ⅰ	作業療法の研究の仕方について一連の流れを理解し 必要な基礎的知識・技術・態度を身につける。	2 後	16	1	○		
○		作業療法研 究法Ⅱ	作業療法関連領域から自分の興味ある課題に取り 組み、卒業研究を完成させる。	3 前	16	1	○		
○		臨床作業療 法演習Ⅰ	作業療法臨床の現状への理解と見聞を深める。	1 後	30	1			○
○		臨床作業療 法演習Ⅱ	作業療法臨床の現状への理解と見聞を深め、対象者に 対する検査・観察・面接の一部を体験する。	2 前	40	1			○
○		地域作業療 法学総論	地域作業療法の理念と役割の修得。	3 前	16	1	○		

○			環境整備論	福祉用具と住宅改造についての基本的知識を身につけ、環境整備案の作成を経験させる。	2 後	20	1	○		
○			作業治療学 特講	各分野の基本的知識・技術を再確認し、国家試験模試を行い、結果を分析し弱点を克服する。	3 通	20	1	○		
○			特論	(カリキュラム変更のため現1年生対象)卒業生を講師とし現場で求められている事、現場で起きている事をさまざまな角度で学ぶ	3 通	30	2	○		
○			作業療法総 論	作業療法の一連のプロセスを理解し、実際に行うことができるようにする。	3 前	16	1	○		
○			臨床実習 I-1	対象者に対する検査・観察・面接などを体験し、その情報から対象者の状態像を考察する技術を体得する。	2 後	135	3			○
○			臨床実習 I-2	対象者に対する検査・観察・面接などを体験し、その情報から対象者の状態像を考察する技術を体得する。	2 後	135	3			○
○			臨床実習 II-1	対象者の観察、評価を行い、治療計画を作成し、実践する。治療経過をまとめて考察を行う。	3 前	360	8			○
○			臨床実習 II-2	対象者の観察、評価を行い、治療計画を作成し、実践する。治療経過をまとめて考察を行う。	3 後	360	8			○
合計					66 科目	133 単位	(3114 時間)			